



今年4月、大槌高校に入学した3人。入学試験の日には声をかけ合い、学校生活が始まるとすぐに仲良くなったと言います。今回は、埼玉県川越市から大槌へやって来た本江さんに話を聞きました。

菊地 花さん  
本江 紗羅さん  
谷澤 春妃さん

大槌の海、山、川  
豊かな自然に心ひかれる

大槌高校を知ったきっかけは何ですか？

本江さん(以下本)——兄が島根県隠岐の島町の高校へ進学したこともあり、県外も視野に入れて進学先を探していた時、大槌高校のオープンスクールを見つけ、参加しました。

入学しようと思った決め手は？

本——オープンスクールで先輩たちに大槌を案内してもらったり、東海洋研を見学したりするうちに、帰る前にはすでに大槌に来たいと決めていました。なかでも、大槌の海や山、

川などの豊かな自然に心をひかれました。小さい頃から自然が好きで、ボイスカウトにも入っていました。埼玉は海が無く、しょっちゅう川で遊びました。また、実は以前から三陸鉄道が大好きで、実際に乗って出かけた、下宿の傍を通る列車を眺めたりできて嬉しかったです。

「はま留学」第1期生として  
大槌高校の良さを伝えていきたい

どんな高校生活を送りたいですか？

本——とにかく楽しみたいと思っているし、もうすでに楽しいです。「はま研究会」での海の勉強や、復興研究などたくさんさんの経験をしたいし、生活に慣れてきたら中学の友達を大槌に呼びたいです。オープンスクールでは、先輩たちの地元愛に驚きました。今年はぜひ私もその中に入って、大槌の自然などをPRしたいです。今は留学生が私一人でさびしいので、来年たくさん来てくれるように、第1期生として大槌高校や町の良さを伝えていきたいです。